

ネスレ日本と渋谷未来デザイン、マイボトル利用推進を中心に “持ち歩きたくなる”をデザインする新プロジェクト 「SHIBUYA Refresh TO GO」を始動

5月30日の代々木公園でのイベントを皮切りに、産官学民で取り組みを展開

ネスレ日本株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役 社長 兼 CEO:深谷 龍彦、以下「ネスレ日本」と)と一般社団法人渋谷未来デザイン(所在地:東京都渋谷区、代表理事:小泉 秀樹、以下「渋谷未来デザイン」)は、渋谷を起点に、マイボトルを日常的に持ち歩き、心地よくリフレッシュする新しいライフスタイルの定着を目指す共創プロジェクト「SHIBUYA Refresh TO GO」を、2026年5月30日(土)に始動します。

本プロジェクトでは、気候変動により高まる暑さへの対応として、街なかにおけるクールスポットの活用や、マイボトルでの飲料補充といった具体的な行動を創出し、無理なく続く新しいリフレッシュのあり方を提案します。



持ち歩く文化を、渋谷から。

「SHIBUYA Refresh TO GO」プロジェクトロゴ



マイボトルに飲み物(ネスレ日本の「ネスカフェ クーラー」)を入れたイメージ

近年、使い捨て容器の削減や環境配慮への関心は高まる一方で、日常生活の中で行動として継続することの難しさが課題となっています。マイボトルの利用についても、「環境に配慮している」という理解は広がりつつあるものの、持ち歩く手間や利用シーンの限定性などから、習慣として定着していない現状があります。

新プロジェクト「SHIBUYA Refresh TO GO」では、環境配慮を義務や我慢として伝えるのではなく、リフレッシュの心地よさや楽しさを伴う体験を通じて、誰もが自然に選びたくなる新しい都市行動へと転換していくことを目指します。ネスレ日本が「ネスカフェ」を通じて提供するドリンク体験を軸に、マイボトルやリフィル、アップサイクルといった要素を掛け合わせることで、結果として使い捨てごみやプラスチック削減につながる、新しいリフレッシュカルチャーを渋谷から社会へ発信していきます。

渋谷は、若者文化、働く人、観光客、クリエイターが交差し、新しいライフスタイルやカルチャーが社会へ波及していく都市です。渋谷未来デザインは、「渋谷に集まる多様な個性とともに実現するイノベーションプラットフォーム」として、行政、企業、大学、生活者と連携しながら、都市の未来につながる実証や共創を推進してきました。本プロジェクトでは、渋谷を実証フィールドとして、単なる給水インフラ整備にとどまらず、「持ち歩く」、「リフィルする」、「リフレッシュする」という行動そのものを都市体験へとアップデートし、環境配慮、ウェルネス、自己表現が融合した新たな都市型ライフスタイルの創出を目指します。

ネスレ日本は、直営店「ネスカフェ 原宿」(渋谷区神宮前)を拠点に、長年にわたり原宿の街と向き合いながら、体験型コミュニケーションに取り組んできました。こうした知見と、渋谷未来デザインが持つ都市共創ネットワークを掛け合わせることで、これまで店舗単位にとどまっていた取り組みを街全体へと広げ、渋谷から社会へ広がる新しいリフレッシュ文化の定着を推進していきます。

<「SHIBUYA Refresh TO GO」概要>

ネスレ日本と渋谷未来デザインによる共創プロジェクト「SHIBUYA Refresh TO GO」は、渋谷を起点に、都市生活の中でのリフレッシュ体験をアップデートする取り組みです。イベントや実証を通じて得られた知見を、街や日常生活のさまざまなシーンへ展開していきます。具体的には今後、以下の取り組みを予定しています。

- ・ 渋谷エリアで開催されるイベントにおける啓発活動
2026年5月30日(土)に代々木公園 BE STAGE で開催する YOYOGI PARK CULTURE FES -集-
2026年6月25日(木)から7月5日(日)に渋谷ストリームでネスレ日本が開催するイベント ほか
- ・ ソーシャル&カルチャーデザインの祭典「SOCIAL INNOVATION WEEK」を通じた学生との連携プロジェクト
- ・ 「ネスカフェ 原宿」をはじめとした渋谷エリアの施設での各種活動

【ネスレ日本株式会社 常務執行役員 飲料事業本部長 島川 基のコメント】



ネスレは、「食と飲料の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていく」ことをパーパス(存在意義)として掲げています。本プロジェクトは、都市生活の中でのリフレッシュのあり方を見つめ直し、無理なく、心地よく続けられる行動変容を日常に根づかせていく挑戦です。当社は、15年以上にわたり「ネスカフェ 原宿」を通じて、体験を起点としたコミュニケーションを実践し、生活者との関係を築いてきました。今回、単なる啓発にとどまらず、街の中で自然に行動が広がっていく仕組みを実現するためには、都市の文脈を深く理解し、多様なステークホルダーを巻き込みながら共創を進めてきた渋谷未来デザインの皆さまとの連携が不可欠だと考えました。渋谷未来デザインの皆さまと共に、街に根ざした形で取り組みを推進し、渋谷から新しいリフレッシュの価値を社会へ発信していきたいと考えています。

【一般社団法人渋谷未来デザイン 理事・事務局長 長田 新子のコメント】



渋谷は、世界中の人やカルチャー、企業、クリエイターが交差し、新しい行動や価値観が自然と生まれていく街です。だからこそ私たちは、「頑張ること」としてではなく、「かっこいい」「気持ちいい」「つい持ち歩きたくなる」という感覚から広がることが大事だと考えています。渋谷未来デザインは、産官学民の共創によって社会課題を解決し、新しい都市文化を生み出す取り組みを推進してきました。今回、グローバルに人々のライフスタイルを提案し続けてきたネスレ日本さんと一緒にできることで、単なる啓発ではない、都市ならではの新しい行動変容にチャレンジできることを嬉しく思っています。「SHIBUYA Refresh TO GO」を通じて、マイボトルを日常的に持ち歩き、心地よくリフレッシュするライフスタイルや、「持ち歩きたくなる文化」の定着を、渋谷から社会へ広げていきたいと思えます。

以上

参考資料

■ネスレ日本株式会社について

ネスレ日本は、スイスに本社を置く世界最大の総合食品飲料企業ネスレの日本法人で、1913年(大正2年)に創業しました。ネスレは、「食と飲料の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」を存在意義(パーパス)として掲げ、安全で、美味しく、環境にも配慮された製品やサービスを皆さまにお届けできるよう、今後も努めていきます。

ネスレ日本について: <https://www.nestle.co.jp/>

<ネスレの環境への取り組み>

世界185か国で事業を展開する世界最大級の食品飲料企業であるネスレは、製品パッケージの改善や廃棄物削減を通じて、サーキュラーエコノミーの構築に向けた取り組みを進めています。

日本での取り組み「地球のために」: <https://www.nestle.co.jp/csv/japan/planet>

<「ネスカフェ 原宿」について>

2010年10月に「カフェ ネスカフェ 原宿」としてオープンして以来、15年以上営業を続けているネスレ日本の直営店です。2024年4月には、「ネスカフェ」を選ぶ、という小さな行動がサステナブルな未来へつながることを体験できるコンセプトストアとしてリニューアルしました。

2024年3月22日(金)発行のプレスリリース: https://www.nestle.co.jp/media/pressreleases/20240322_nescafe

■一般社団法人渋谷未来デザインについて

渋谷未来デザインは、ダイバーシティとインクルージョンを基本に、渋谷に住む人、働く人、学ぶ人、訪れる人など、渋谷に集う多様な人々のアイデアや才能を、領域を越えて収集し、オープンイノベーションにより社会的課題の解決策と可能性をデザインする産官学民連携組織です。都市生活の新たな可能性として、渋谷から世界に向けて提示することで、渋谷区のみならず社会全体の持続発展につながることを目指しています。

一般社団法人渋谷未来デザインについて: <https://fds.or.jp/>